

討論

平成27年度飯南町各会計歳入歳出決算認定

反対討論 伊藤 好晴 議員

一般会計

指定管理者に任せている事業業務内容を精査し、業務の縮小・撤退も含め再検討すべき。

平成27年度に交付された指定管理料は、1億4000万円余に上る。このまま指定管理料が増え続ければ、住民の命と暮らしを守ることに大きく支障を与えることにもなりかねない。

指定管理による運営が図られている施設は、運営の内容を日常的に把握して、町民の理解が得られるよう努力することが求められている。

学習支援館

県内の各自治体でも、公営塾が導入されているが、学習支援館事業が始まって、5年が経過した。

審査の対象

- ・平成27年度飯南町一般会計歳入歳出決算書及び関係書類
- ・平成27年度飯南町国民健康保険事業外4件の特別会計歳入歳出決算書及び関係書類
- ・平成27年度飯南病院事業会計歳入歳出決算書及び関係書類

審査意見

財政指標は、経常収支比率は88・0％と前年対比3・4％の減。実質公債費比率は11・0％、将来負担比率55・1％と、前年より改善し、いずれも早期健全化基準を下回っている。

未収金

一般会計の未収金は5426万円。前年度に比べ698万円減少し、特別会計でも461万円減少している。

徴税専門員を配置するなど滞納対策が強化され、一定の成果が認められる、今後も公平性の確保に努められたい。

町有財産

町有財産の処分は、安易な廃棄でなく希望者への譲渡など有

効活用すべきである。

交流物産館

収支の状況から厳しい運営状態にある。当初の目的達成に向け努力を求めよう。

子ども子育て支援事業

ファミリーサポート事業のために来島保健センターが整備された。他の使用目的の利用者があるなかで活動に不都合が生じている。使用方法については条例改正を含めて検討されたい。

大注連縄創作館臨時管理費

玄関しめ縄上薦取り替えは、通常の取引価格で措置してあるが、実費のみで執行されるべきである。

緑の分権改革推進事業

道の駅にある中速充電器2台分の維持経費が、139万円となつている。利用収入は8240円と非効率であり、施設のあり方を検討されたい。

集落支援員活動事業

支援員が配置されていない地域があり、不公平感がある。人材の確保を図り、定められた任務に従い、地域の要望に沿った活

受講していない生徒への対策が不十分で、学力の向上を唱えても実現しない。どうすれば受講したい気持ちになるのかきちんと把握し、対策を打つべきだ。

義務教育の子どもたちを対象にしているから中学生全員が受講するよう努力を求めよう。

繰上償還

平成27年度は元金及び利子を合計し、14億7000万円あまりが支出されている。

繰上償還の場合には、利息相当分の補償金も必要になり、財政的にはリスクがある。緊急を要する案件を解決した上で、繰上償還を検討すべきだ。

賛成討論

熊谷 兼樹 議員

一部の事業、施策について、費用対効果や実施状況、指定管理者制度の問題など課題がある点をもつて、全体を否定する姿勢には同調できない。

指定管理者制度は、委員会の中で、特段の課題の指摘はなかつ



指定管理者制度が導入された経緯を考えたとき、必要性はあると考えるが、今後、精査していかなければならない。

財政運営は、平成18年度実質公債比率が25％を超える非常事態だったが、27年度末に11・0％まで引き下げた努力は評価に値する。

今後、地方交付税の減額等、歳入の減少が予測される。更なる健全な財政運営に努め、適切に次世代に繋がる活性化策が打ち出せる環境を堅持すべきだ。

全16議案のうち、反対があった議案の採決結果は次のとおりです。

【12月定例会】

件名	結果	高橋英次	早樋徹雄	内藤眞一	熊谷兼樹	門眞一郎	長島正一	永井章	伊藤好晴	難波俊司	
平成27年度飯南町各会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
その他15議案	認定	全会一致で可決									

○賛成 ●反対

第6回臨時会(11月10日開催)

平成28年度飯南町一般会計補正予算(第4号)	全会一致で可決
------------------------	---------

決算審査報告

決算審査特別委員会 委員長 高橋 英次

平成27年度飯南町各会計歳入歳出決算について審査の結果を報告します。



ファミリーサポート事業を視察

動ができるよう努力を求めよう。

飯南病院

これまで3年間赤字決算が続く状況であったが、病床利用率の向上や、職員、病院スタッフの努力により、経常利益4100万円余の黒字となった。今後も町民からの信頼を損なわないよう、更なる経営努力を求めよう。



大万木山から頼原を望む